

「東アジア環境史青年会議」(The Youth Forum of East Asia Environmental History)に参加しました。

私は、2014年3月8日～10日上海交通大学（中国）で行われた「東アジア環境史青年会議」(The Youth Forum of East Asia Environmental History)に報告者の一人として参加させていただきました。中国、台湾、韓国そして日本の学生や教員が一同に集まり、2014年の第4回会議では約20人の学生が報告を行いました。

研究報告は全てスライドを使用しながら英語で行われ、司会やコメントも学生が担当しました。報告テーマは、医療史や環境史に関わる様々な分野を含み、会議終了後にはエクスカージョンも企画されており、上海市内や郊外を見学しました。

私自身も報告とコメントを担当しました。英語を母国語としない学生が多い中で自分の意見を英語で分かりやすく伝えるよう努力することは非常に有意義な経験でした。また私だけでなく参加者各々が国境を超えたコミュニケーションの方法を模索し実践していく様子を目の当たりにすることができました。

この会議のメリットは各国の学生や教員との会議における交流だけでなく、数日間寝食を共にしながら語り合うことができるということでもあります。様々な文化的な背景を持った人々との会話の中では常に新たな発見があり、自分の研究にも新たな視点を取り入れることができることができると感じています。

東アジアの学生が互いに刺激し合い励まし合うことのできる意義深い会議を企画してくださった飯島先生をはじめ他の設立者の先生方に心より感謝申し上げます。また、今回の会議への参加経費は、青山学院大学の大学院生が学会発表をするための経費を申請しました。(記・村上紗知子)



会議の様子



エクスカージョンで訪れた烏鎮